

社会・地理歴史・公民

1 社会科，地理歴史科，公民科教育の課題

基礎的・基本的な知識・技能の育成では

都道府県の位置と名称など，実生活との関連や学習の基盤として重要な事項の定着を図ること。

民主主義や法といった概念や原理，法則など，個々の知識を体系化するものは，教育内容として重視し，適切に位置付けること。

自ら学び自ら考える力の育成では

社会的事象に関する情報や意見をグラフや図表などから読み取ったり，複数の資料を相互に関連づけて活用し，自分の考えを表現したりすること。

需要，供給などの概念で価格の変動をとらえて消費生活に生かすなど，知識や技能を実生活で活用すること。

2 課題解決のためのポイント

P

児童生徒の社会的事象に関する知識（理解や活用）についての実態把握
単元についての内容構造図の作成と，教材に即した具体的な目標の設定
による児童生徒に身に付けさせたい能力の明確化
知識や技能を活用し，考え行動する力を育成するための，課題解決的な
学習計画の作成
グラフや図表，年表などの基礎的資料の取扱いの指導計画への位置付け

D

都道府県の位置や名称，グラフの読み取りなど基礎的・基本的な知識・
技能についての繰り返し指導
児童生徒が主体的に探究したくなるような学習課題（主要な発問）の設定の
工夫
児童生徒の身近な生活や時事的な問題の教材化
「なぜ」「どうすべきか」などの問いを児童生徒が自ら調べ，考察し，表
現する課題解決的な学習の実施
課題追究の過程や自分の結論の根拠を明確にしたレポートの作成や発表
の場の設定など，表現させる指導の工夫

C

児童生徒が調べ，考察し，表現した内容についての自己評価，相互評価な
どの実施（自己課題の明確化）
ワークシート，レポート，ポートフォリオなどを活用した評価の実施

A

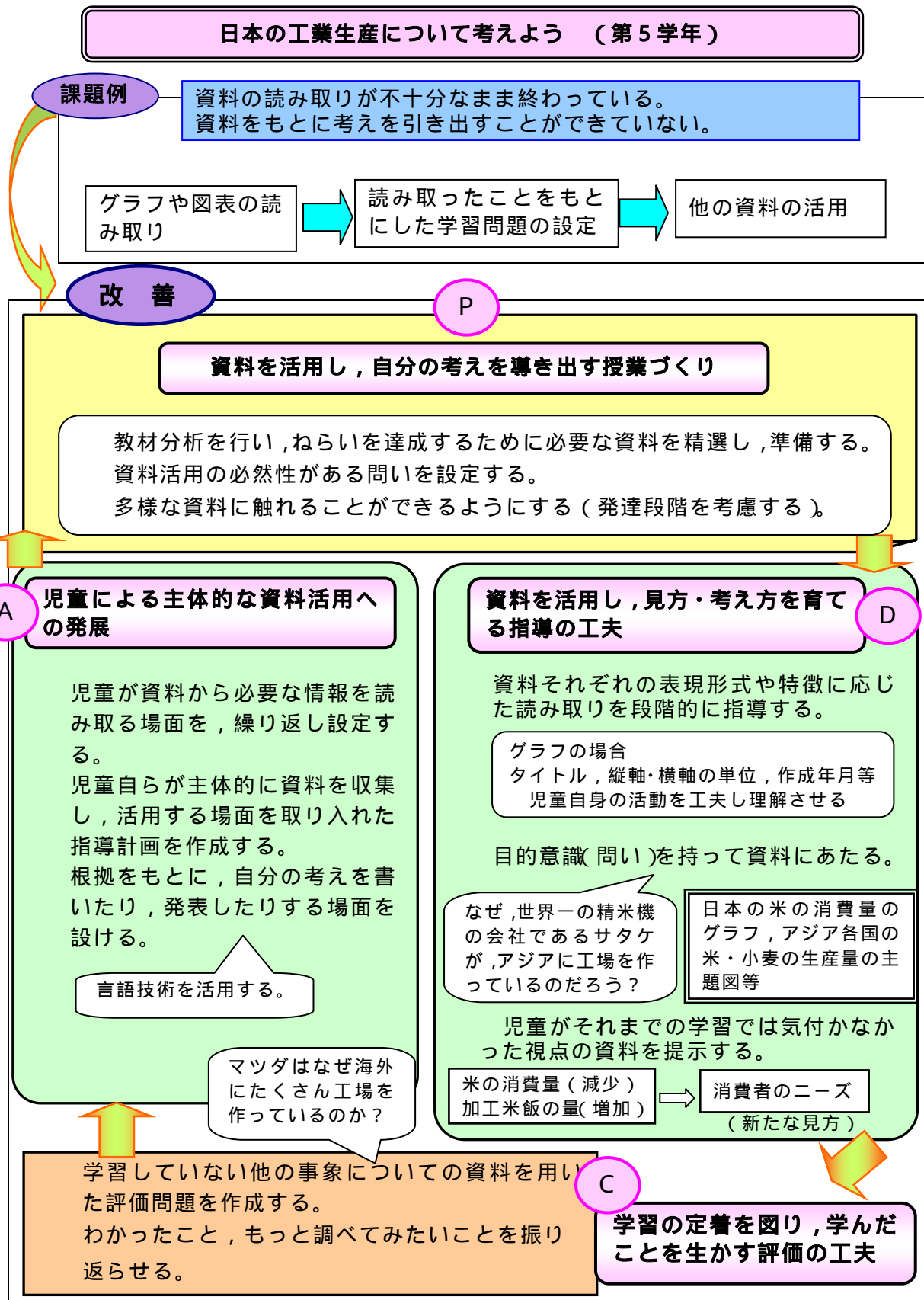
「努力を要すると判断される」状況の児童生徒への手立て（反復学習等）
の実施
発展的な学習の実施
基本的な概念や原理，法則などの定着状況の振り返りと，指導方法の改善
や新たな教材の導入などの検討

言葉と体験

身に付けた法則性や概念をもとにして事象を説明させたり，意思決定が必要
な場面を設けて各自の解釈や判断を根拠に基づいて説明させたりすること。

3 課題解決のための授業改善事例

(1) 小学校



(2) 中学校

国民生活と福祉 (公民的分野)

課題例

政治や経済に関する基本的な概念や仕組みが十分に理解できていない。

教科書にある記述・資料のみで学習

教師による説明中心の授業形態

基本的な用語を答えるテストの実施

改善

P

自分たちの生活と結びつけて考えさせ、理解させる授業づくり

政治や経済に関する生徒の関心などの実態を十分に把握する。
地域の実態を十分に把握した上で、自分たちの生活につながる具体的な事例を教材化する。
取り扱う事例について、生徒が主体的に資料を収集し活用する計画を立てる。
身に付けさせたい基本的な概念の内容を明確にしておく。

A

教材、授業展開の改善

理解が不十分な生徒に対して補充学習を実施する。
ねらいを達成するために取り上げた事例の適切さを吟味する。
調査活動の手順を吟味する。
新聞等を活用し、生徒の社会的事象に対する関心や追究意欲を持続させる。

調査や討論などの生徒の主体的な活動を取り入れた学習過程の工夫

D

「なぜ」という問いを持たせ、その答えを実際の調査活動等を行い考察する。

なぜ、高速道路を利用すると、お金がかかるが、家の前の道路は無料なのか

調査したことを発表しあう場面を設定し、内容、根拠となる資料等を吟味する。
市役所の話聞き、理解を深める。

C

ワークシートによる評価

ワークシートに自分の考え、根拠となる資料をまとめる。
問いに対して、多面的に考察し、根拠を持って判断している。
身に付けさせたい基本的な概念が、自分の生活と関連づけて用いられたり、適切に説明されていたりする。

社会資本の整備の必要性

(3) 高等学校地理

人間と環境 ~ 地形, 気候 ~ (「地理B」)

課題例

地理的事象に関する断片的な知識の網羅的な理解に終わっている。

地形, 気候などの学習内容を日常生活との関連づける活動ができていない。

地理情報の処理や地理情報を表現する技能の育成に課題がある。

様々な地形について用語や概念の説明に留まっている。

改善

P

自然環境と生活を結びつけて学ぶ授業
地理的な事象についての知識を定着させる授業

写真の読み取りと地図化する作業を組み合わせる。
世界の指定した場所の風景を予想させる(表現させる)。

様々な地域の写真の読み取りを行う。
写真から, ワークシートを活用してより具体的に読み取る。

A

自然環境と地図との関連付けを行うなど読み取った内容を活用する場面設定

読み取った写真の場所を世界地図に示す。
降水量や気温など数値データと読み取った写真を関連づけさせる。

写真から降水量が多いと判断した場所の位置を地図中に示し, 年間降水量との関連を考察させる。

世界地図上のある地点を指定し, その地点の風景を絵やイラスト, 文章などで具体的に表現させる。

D

世界の見知らぬ場所の生活の一場面を写した写真のワークシートを使った読み取り

| 地形 | 気候 | 生活 | 産業 |
|----------------|---------------|-------------|------------------------|
| 険しい山地 U字型の谷 | 雨があまり多くなさそうだ。 | 意外と厚着をしている。 | さとうきびを作っている。 農業が中心。 |

植生や土壌, 住居, 衣服など多様なことがらに注目させる。

他の地域と比較することによって読み取りを深めさせる。

C

グループでまとめた結果を発表させ, 読み取ったことがらをクラス全体で吟味する活動を通した生徒の理解度の評価

読み取った知識の吟味の工夫

読み取った根拠を述べさせる。(納得できる説明となっているか。)

数値と結びつけて考えさせる。(具体的な答えとなっているか。)

(4) 高等学校歴史

前近代史の学習 (「世界史A」)

課題例

歴史の細かい事象を教えすぎて、前近代の世界の歴史の大きな流れと特質を理解させていない。

歴史的な事象をより詳しく扱う授業

網羅的な通史学習が中心の学習内容

講義形式一辺倒の授業形態

改善

P

歴史の大きな流れを理解させる授業へ

主体的な追究活動を行う主題学習の充実。
歴史的な事象を解釈し、理論を学ぶ授業への転換。

問いを追究する授業(「なぜ」という疑問を探求する授業)
歴史的な事象の関連の考察に重点化を置いた学習活動の組織化。

→ 内容の精選・重点化に繋がる。

A

生徒による主題学習を充実

生徒の生活と関連ある題材を扱う。新聞や雑誌などから話題性のある事象を教材として取りあげる。互いに異なる複数の解釈を提示して根拠を吟味させる。調べたことを文章等にまとめさせたり、人前でポスターセッションをさせたりするなど、表現力を育成する工夫を行う。

教師による説明だけでなく、「発問」により生徒の思考を促す指導の充実

D

様々な事象の考察を通して歴史的に判断させる場面を設定する。

歴史的な事象の関連を考察させる。

オスマン帝国の衰退とヨーロッパ人の世界進出の関連を考察する。

複数の地域の歴史的な事象を比較させる。

諸文明を比較する。

官吏登用制度と社会の変化を関連させ流れを捉えさせる。

個々の出来事から全体の流れをとらえさせる。

C

発問へ応答、ワークシート等の評価、授業進捗の評価

生徒が学習内容をもとに、自分なりの新たな問いや追究課題を発見しているか。
生徒が社会的な事象相互の関連を説明できるか。
学習内容について、内容精選・重点化が行われているか。

(5) 高等学校公民

生命倫理の学習 (「倫理」)

課題例 先哲の思想を知識として伝達することに終始し，人間としての在り方生き方と関連付けた学習ができていない。

生命倫理に係る社会的事象やそれに対する様々な意見を羅列して示して指導している。

生命倫理の問題を生徒の生き方と関連付けて考察させていない。

改善

P

現代の倫理的課題を自己の課題とつなげて追究させる学習

具体的な事例を取り上げ，生命にかかわる倫理的課題に対する関心を高める。
 倫理・宗教・哲学・科学・法律などさまざまな観点から考察する。
 取り上げた事例について関係する諸資料を主体的に収集し，課題を追究する学習に役立つ情報を選択して活用する。
 生命にかかわる倫理的課題を自己の課題とつなげて理解する。

A

生徒の報告書・発表等を分析 調べ方・まとめ方等の指導の見直し

倫理，宗教，哲学，科学，法律など幅広い観点から追究するためには，どのような資料を，どのような方法で収集させるか。
 倫理的課題についての先哲の考え方や，生徒自身の考え方をどのようにつなげさせるか。
 生徒の発表・意見と他の生徒の発表・意見をどのように結び付けるか。

生徒が自ら学び，自ら考え，自ら判断できる力を身につけさせる指導の充実 D

従来の生命観では対処できない様々な倫理的課題のうち，特に調べたい追究テーマを設定し，追究させる。

追究可能な意義あるテーマか？

テーマ設定の視点はよいか？

生命に係る倫理的課題を自己の課題につなげて多面的・多角的に考察させ，自分の考えを報告書にまとめる。各自が作成した報告書をもとに，生命にかかわる倫理的課題について考察したことを発表させ，発表内容をもとに話し合わせる。

C ワークシートを活用した学習評価の工夫

- < 例 1 > 生命にかかわる倫理的課題について，自己の課題とつなげた具体的な追究課題（テーマ）を見出し，その課題を追究したい理由を記入しているか。
- < 例 2 > 臓器移植について，ドナー，レシピエントなど，様々な立場に立って判断し，判断の根拠を記入しているか。